

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月19日

秋田県知事
佐竹 敬久 殿

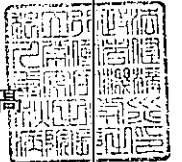
提出者

住 所 秋田県大館市軽井沢字下岱30

氏 名 独立行政法人労働者健康安全機構

秋田労災病院 院長 多治見 公高

電話番号 0186-52-3131



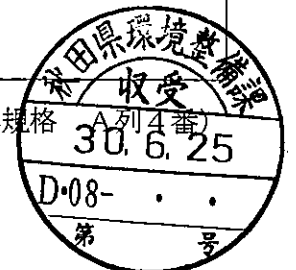
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	独立行政法人労働者健康安全機構 秋田労災病院
事業場の所在地	秋田県大館市軽井沢字下岱30
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

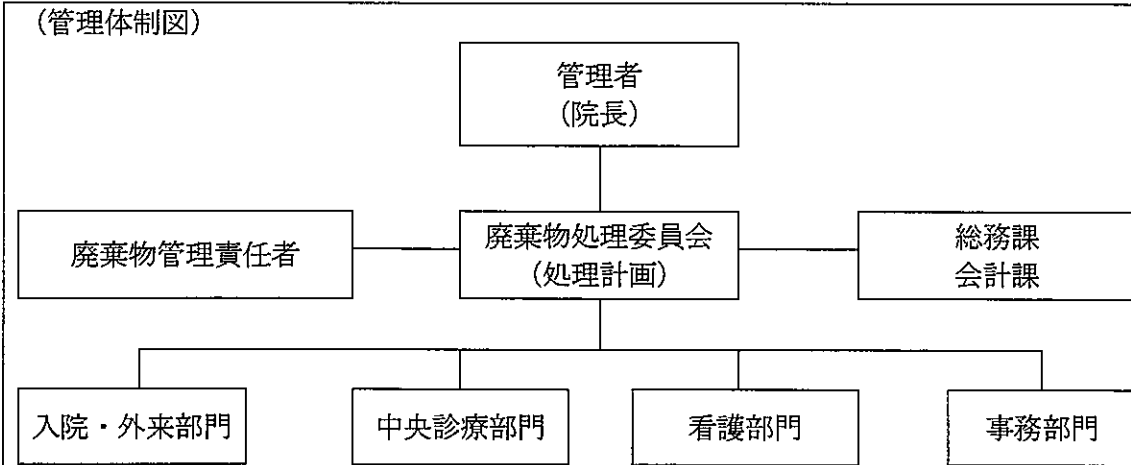
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：医療、福祉 中分類：医療業
②事業の規模	病床数 194床
③従業員数	267人（医療従事者233人、非医療従事者34人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(排出事業所) 秋田労災病院</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">感染性廃棄物</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">委託処分 (収集運搬) ⇒ (焼却) ⇒ (最終処分)</div> </div>

(日本工業規格 A列4番)



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成 29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	58.97 t	t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>廃棄物分別フロー図を作成し、廃棄物の分別について周知徹底を図り、きめ細かい対応したことで感染性廃棄物の排出量を大幅に抑制してきたが、感染対策の面からディスプレイ製品を使用せざるを得ないため総排出量の削減に難渋している。結果としては、患者数減少もあり、平成28年度実績から▲3.14 t減少した。</p>		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	59.00 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまで同様、分別の徹底を図るために、作業手順や実施状況を確認し組織的な取り組みを継続することで平成29年度の感染性廃棄物の総排出量（59.00 t）並みを目標とする。</p>		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>感染性廃棄物については、「鋭利なもの」、「固形状のもの」「液状又は泥状のもの」に分別し、その形状にあった適正な容器へ収納している。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>現行の取組を継続するとともに、感染性廃棄物をさらに削減できないか調査、検討しさらなる分別に取り組んでいく。</p>

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実施せず。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実施せず。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	t
(今後実施する予定の取組) 予定なし。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ー	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	ー t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ー	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	ー t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	58.97 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	58.97 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準を順守できる処理業者を選定し、マニフェストにより処理状況及び最終処分状況を確認する。 担当者による中間処分及び最終処分場の視察を実施している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	59.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	59.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き適正な処理が可能な業者を選定するとともに、委託業者との連携を密にしながら廃棄物量削減のための取組みを継続していく。そのうえで、新たな改善点を模索していく。</p>		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。